

.....

第 14 章 均衡所得の決定と乗数機構 練習問題

.....

1. 伸縮価格経済における総需要と総供給が均衡する仕組み、またその均衡に収束する条件を、図解しながら説明しなさい。
2. 固定価格経済における総需要と総供給が均衡する仕組み、またその均衡に収束する条件を、図解しながら説明しなさい。
3. 日本の GDP に占める総固定資本形成、民間設備投資、民間住宅投資、政府粗投資、在庫投資の割合を、2010 年度の国民所得統計から調べなさい。また 2012 年度の同統計からも調べなさい。
4. 日本の1971年以降において、消費者物価指数が1年を通じて不変であり、固定価格経済と見なせる時期が存在したかどうか、内閣府のデータを用いて検証しなさい。
5. 総需要と総供給が均衡して均衡国民所得が決定されるメカニズムを、サミュエルソンの45度線図を用いて、説明しなさい。
6. 有効需要を定義し、有効需要の原理を説明しなさい。
7. 貯蓄と投資の数量調整機構を通じて、均衡国民所得が決定されるメカニズムを、説明しなさい。
8. 完全雇用国民所得を図示しながら説明し、それとの関連でインフレ・ギャップとデフレ・ギャップを図示しながら説明しなさい。
9. 独立投資の増加による乗数および乗数効果を、数式を用いて説明し、図解しなさい。またそれに対応する貯蓄の乗数過程を、数式を用いて説明しなさい。
10. 貯蓄意欲の増大により貯蓄曲線が上方シフトすると、貯蓄のパラドックスが起こることを、図解しながら説明しなさい。
11. 誘発投資がある場合の複合乗数を、数式を用いて説明しなさい。また複合乗数がプラスとなるための条件は何か、説明しなさい。
12. 一括直接税がある場合、財政支出の財政乗数を数式を用いて説明しなさい。また増税

による財政乗数を数式を用いて説明しなさい。すると財政支出と税金が一致する均衡予算

13. 比例税の場合に、財政乗数がどうなるか、数式を用いて説明しなさい。それと一括税の場合と比較して、比例税が自動安定効果を持つことを説明しなさい。また累進税の場合には、自動安定効果がさらに強まることを説明しなさい。

14. 輸出を独立支出とする場合、貿易乗数がどうなるか、数式を用いて説明しなさい。